「これからの部活動とPTAの役割」

学校教育の一環として行われる部活動は、同好の生徒が活動を通して交流したり、より高い水準の技能や表現に挑戦したりして、豊かな学校生活を経験し、心身の健康の増進に効果的な活動です。また、異年齢との交流の中で生徒同士や教員と生徒等との好ましい人間関係の構築を図るとともに学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資する等、生徒の多様な学びの場として、大きな教育的意義を持っています。

しかしながら、近年、生徒を取り巻く社会・経済の変化等により教育等に関する課題が複雑化・多様化し、学校や教師だけでは解決することができない課題が増えてきており、少子化に伴う運営体制の脆弱、過度な練習による生徒の身体的・精神的負担、学校における働き方改革等多くの課題があります。

このような観点に立ち、部活動の在り方を見直し、生徒のバランスの取れた生活や健やかな成長をはかるため、このたび山形県における部活動の在り方に関する方針が策定されました。

部活動方針の背景とその目的、これからの部活動の方向性について研修し、方針が出される以前と現時点の部活動の変化やこれからの部活動と PTA との関わりについて考えます。

……

〈話題提供〉　山形県教育庁スポーツ保健課　課長補佐　村上周市　氏

「部活動の在り方に関する方針」の目的
◎生徒にとって望ましいスポーツ・部活動の実施環境の構築
◎教員の働き方改革の推進

1. 適切な運営のための体制整備
2. 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進のための取り組み
3. 適切な運動部活動の運営
4. 運動部活動における事故防止
5. 生徒の多様なニーズに応じた活動のための体制整備
6. 学校単位で参加する大会の見直し

・外部人材の確保
・部活動指導員を令和元年から２年度から全学校に配置
・活動時間を守り週休日を確保
・夜練やクラブは方針に添った範囲で
・合同部活動、拠点校の体制整備
など

※部活動を地域におろし、受益者負担「総合地域型スポーツクラブ」や全年齢を対象にした「スポ少」など多様な考え方がある。学校や地域の実態に応じた地域スポーツ団体との連携、事業者の活用によるスポーツ環境の整備等が課題である。

……

上記の話題提供をうけ５つのグループに分かれ、それぞれに教育委員会の方も参加し現状や課題等意見交換が行われた。

〈PTA としてどのような取り組みができるか〉

⇒子どもの事・部活動の事に関心を持つ。PTA 研修会のテーマに揚げ、啓発活動を展開する。

⇒保護者会の話し合いを重ねることで部活動に対する視点を共通理解に変えていく機会を設ける。

⇒子どもの部活に対する夢や安全を見守る。地域の外部指導員の活用。

⇒部活動をクラブ活動に移行する。生徒・保護者・指導者で熱量が違う為他者を許容する意識改革。

〈まとめ〉

他県では、地区総体を実施しないなど、参加する大会を精査し部活動の在り方を大きく変えたところもあり、これまでの私の考え方と全く別の局面を迎えていると感ました。生徒・保護者・指導者が山形県の部活動の方向性・在り方に関する方針を理解し、生徒の健やかな成長を支える山形県らしさの「輪」ができるように、個々に関心を持つ事が大切な一歩だと思いました。

文責　山形県 PTA 連合会理事　菅原美穂